

# 蚕桑小4年生も熱演!! 高玉芝居定期公演開催



11月23日(水祝)、第十八回 高玉芝居定期公演が開催されました。

今年も80席限定となりましたが、地区の限定をなくし、地区外からのお客様にも観覧していただきました。早い段階でチケットが完売してしまい、キャンセル待ちが出る程の人気ぶり。

舞踊は時間短縮の都合で、2曲のみの披露でしたが、見ごたえがありました。

蚕桑小4年生の劇「こぐわの宝」の上演もあり、子どもたちの元気いっぱい芝居に、会場は拍手喝采でした。

高玉芝居は、演目「三保の松風 しぶきの仁義」を上演。迫力の殺陣や、アドリブを交えた軽快なやり取りなどもあり、大盛り上がりでした。

来年の公演時は、座席の数を多くして開催できるように期待し、感染症の終息を祈るばかりです。



## 社会体育振興会主催 輪投げ大会・モルック大会

12月4日(日)に紬パークにて、輪投げ大会とモルック大会が開催されました。モルックは初体験の方も多く、ルール説明からのスタートでしたが、簡単なルールのため、すぐに皆さん楽しくプレイされていました。小学生から年配までみんな笑顔の大会でした。

輪投げは久しぶりの大会開催となりました。大ベテランの方の参加があり、見事な腕前を披露されました。みなさん和気あいあいと競技されていました。輪投げ大会の後に、モルックの体験もしていただきました。

### 輪投げ大会

- 1位 中川 順一さん
- 2位 長谷部 忠江さん
- 3位 宮沢 ちる子さん

### モルック大会

- 1位 西田尻チーム  
(小林 一幸さん、  
小林 俊久さん、  
横澤 大輔さん)
- 2位 山口軍団(関 蒼大さん、  
佐藤 奏祐さん、  
関 奈月さん)
- 3位 雪舟町チーム(今野 トシ子さん、  
長谷部 照昭さん、  
長谷部 克子さん)



入賞者の皆さん、おめでとうございます！

この大会をもちまして、社会体育振興会の今年度事業は終了となります。来年度も様々な事業を企画いたしますので、ぜひご参加下さい。

### 年末年始休館のお知らせ

12月29日(木)から1月3日(火)まで年末年始の休館となります。ご理解とご協力をお願いします。

### 新春のつどいについて

3年ぶりに新春のつどいを開催します。人数を制限して実施するため、ご案内させていただいた方みの参加となります。ご理解の程お願いいたします。

### これからの予定

- 12月17日(土) 筆ペン絵文字講座
- 12月19日(月) コミセン大掃除
- 12月22日(木) 絵画教室
- 12月29日(木)～1月3日(火) 休館日
- 1月 7日(土) 新春のつどい
- 1月14日(土) こぐわキッズ広場

\*毎週木曜日青色パト車運行

### こぐわキッズ広場 白鷹町散歩

11月7日(月)、白鷹町教育委員会学芸員の石井紀子さんを講師に、こぐわキッズ広場を開催しました。17名の小学生が参加し、町のバスで鮎貝八幡宮、白鷹町歴史民俗資料館「あゆみしる」、笠松山経塚遺跡を巡りました。

日頃なかなか訪れることのない場所を案内していただき、「あゆみしる」では、白鷹紬の織り機の体験ができる等、楽しい時間を過ごしました。



# 地域鳥獣対策の実証

## ～電気柵の設置体験報告～

地域振興部の活動として「有害鳥獣対策の啓発」を行い、今年度で2年目となりました。

令和3年度は「イノシシ被害対策の現地研修」を計画し、東根地区で実際にイノシシ被害対策をされている、杉沢集落協定の電気柵設置圃場を現地研修させていただきました。

今年度は蚕桑地区の農地に有害鳥獣対策の電気柵を実際に設置して、体験を皆さんに発信していく事を目的とし、部員を中心に活動してまいりましたので報告させていただきます。

### ステップ① 4月～5月 設置場所の選定、電気柵の購入

部員で協議の結果、「たぬきの食害」に悩まされている「こぐわキッズの畑」へ周囲200m3段の乾電池式のものを購入し、設置する事にいたしました。

※購入した電気柵価格等の詳細は裏面に記載

### ステップ② 6月25日、7月2日 設置作業

6月25日、雑草による漏電を防ぐため、防草シートを設置しました。周囲約120m分の防草シートの設置は部員4人で約1時間の作業となりました。

続いて7月2日、初めて見る電気柵に戸惑いながらのスタートとなりましたが、部員7人で約1時間の設置作業となりました。

作業を終えてみると、仕組みも簡単で設置しやすかったという印象でした。



## ステップ③ 8月20日説明会、有害鳥獣対策研修会

8月20日、この度設置した電気柵の説明と、白鷹町役場職員の講師による町内における有害鳥獣対策の研修を蚕桑地区民を対象に実施しました。

特にイノシシ被害については、蚕桑地区には被害はまだ確認されていないものの、みなさんの関心が高く、たくさんの質問や意見がありました。

この時の様子については、参加されていた人気YouTuber（ユーチューバー）により動画が配信されておりますので、こちらのQRコードを読み取ってご覧ください。

スマートフォン等で読み取って動画をご覧ください。



### ～活動全体を通して～

電柵については11月5日に取り外しを行いました。約4カ月間「こぐわキッズの畑」はいも類、スイカ等に被害はなく、有害鳥獣から守る事ができました。人間は知恵により作物を耕作する事で生活を豊かにしてきました。それと同時に他の動植物と共存しながら今日の私たちがいます。時代や環境の移り変わりと共に、自分達の生活を守っていく知恵をこの活動を通して皆様と学ぶ事ができました。

ご協力いただきました方々に感謝し、次年度に向けた取り組みを検討してまいります。大変ありがとうございました。

### 電気柵の詳細

周囲200m、3段、乾電池仕様 防草シート50cm×100m×2 ピン400個 購入価格：78,320円（税込）  
対象となる動物：ハクビシン・たぬき・イノシシ・熊等

蚕桑地区桜の里づくり推進委員会・地域振興部会  
担当：片山政明 長谷部克広 佐藤哲也 船山隼人

活動-2 **第1回 我が家のグリーンカーテン紹介** 2022

○活動の概要

グリーンカーテンは、省エネやCO2削減により地球温暖化対策にもなる取り組みです。SDGsを活動のテーマとしている地域すこやか部で、8月のセンター報で蚕桑地区でグリーンカーテンへの取り組みを募集したところ、3名の方からご紹介頂きました。ご紹介頂いた内容を参考にして蚕桑地区にグリーンカーテンを広めていきたいと考えています。

<p>紹介者:金田捷夫様(東高玉) 植物:ゴーヤ</p> 	<p>紹介者のコメント</p> <p>○我が家のポイント                  植え付けた場所(軒下の花壇)には石が多く良い土ではありませんが背丈は軒先まで伸びています。プランターより根が大きく張ることができるのかもしれませんが。写真では混んでいるように見えますがこれ位でないとい直射を遮ることはできません。部屋からは外を確認できそんなに暗くはなりません。</p> <p>○効果など                  秋遅くまで緑のまま部屋への直射を遮ることが出来る。</p> <p>○コメント                  グリーンカーテンを始めてもう20年くらいになります。最初プランターに植えたのですが、軒先まで伸びなかったので、軒下を掘り返し、あまり良い土ではありませんが地植えとしました。また、西洋朝顔も勢いがあり、花も見られて良いのですが、9月に入ると落葉し始めるためイマイチです。ゴーヤの中に1~2本西洋朝顔を植え、花をアクセントにしています。</p>
<p>紹介者:金田清二様(西高玉) 植物:西洋系アサガオ(カレドニアブルー/スカーレットオハラ)</p> 	<p>紹介者のコメント</p> <p>昨年まではプランターで栽培していました。生育が弱く開花時期は早かったけれど、枯れてしまうことが早くなりがちでした。                  今年は地植えに挑戦したところ、生育が良く、葉の大きさや数も十分に軒の雨樋まで届きました。                  追肥は市販の緩効性肥料です。雨樋まで届いたつる先は、伸び過ぎるので切って整えました。                  旧盆の頃から花が咲き始め、9月半ばを過ぎてもたくさんの蕾を持って咲き続けています。                  南からの日差しを遮り、適度な風が入ってくるのでグリーンカーテンの良さを味わっています。</p>
<p>紹介者:加藤仁一様(東田尻) 植物:アサガオ</p> 	<p>紹介者のコメント</p> <p>我が家では、もう30年ほど前から毎年夏の風物詩となっているアサガオのグリーンカーテンです。                  今年も毎朝100個ほど花が咲き続けました。朝早く花が咲いて夕方頃まで咲いています。                  大きめのハート型の葉っぱと、ぱっと開いたたくさんの花が、夏の暑い日差しを遮ってくれるので、この奥にある家族が集う居間は、クーラーがなくても大丈夫！今年の酷暑の夏でもクーラー稼働は1日だけでした。                  日中暑さが続くと萎れて元気がなくなるので、朝と夕方2回水やりを欠かしませんでした。                  肥料は、春に種を蒔く時とつるが伸びてきたら施します。</p>

○活動の総括

応募いただいた3件のグリーンカーテンについては、10月の文化祭で掲示紹介させて頂きましたが、この度、活動報告として蚕桑地区の方に改めて紹介させて頂きます。紹介者のコメントにも有るようにグリーンカーテンは色々な観点でSDGsの取り組みに繋がることがわかり、改めてこの取り組みを広げていきたいと感じました。グリーンカーテンを紹介いただいた3名の方、大変ありがとうございました。

活動-3 第2回 **桜の里にここウォーキング!**

2022

○実施日 令和4年11月5日(土曜日) 参加人数:21名

○活動の概要

白鷹町教育委員会学芸員の石井紀子さんを講師にお招きし、蚕桑駅を出発し東高玉地区を散策しました。来年はフラワー長井線全線開通100周年を迎えるということで、蚕桑駅を設置するため尽力した人々の動きや陸橋が架けられた背景なども解説して頂きました。また少し足を延ばして、ツツガムシ治療にあたった新野広陵の石碑や県道9号線東側に広がる河岸段丘を自然の要害とした高玉城の跡も見て回りました。

○ウォーキングコース



参加者全員で記念撮影(蚕桑駅前)



鹿島大法院跡での説明風景



陸橋も歩きました



新野広陵碑



高玉城の土塁跡

蚕桑駅戻り (12時00分)・雪舟町公民館で反省会 (お弁当を食べながら懇談しました)

○活動の総括

21名という多くの方に参加して頂きました。当日は時々小雨が降る少し肌寒い中でのウォーキングとなりましたが、全員無事に完走できたことは大変良かったです。現フラワー長井線が長井以北の人々の請願書により荒砥までの延長が決定したことや、原案では長井から最上川右岸を通り、東根から荒砥に至る計画が、西側庶民の猛烈な陳情で現在の敷設になったこと、そして敷設が左岸となったことで東根から蚕桑駅に通じる道路を回収して陸橋を架けることになったことなど長井線延伸に伴うエピソードを知ることができました。また、「毛掘り医者」の新野広陵や高玉城といった近世・中世の東高玉を知る良い機会となりました。最後に事業開催にあたり、講師の石井さんや事務局、そして参加して頂いた21名の方々に感謝申し上げます。



蚕桑地区桜の里づくり推進委員会・地域すこやか部

芳賀卓・児玉満李・菅 昭・菅弘美・土屋亮助・川崎忍・橋本誠一・小林直樹  
金田美喜子・齋藤ゆかり・石橋一也

作成 令和4年12月(文責:芳賀)

## 白鷹町功労者表彰

今年度の白鷹町功労者表彰で、蚕桑地区から、照井クニさん、蚕桑駅前夢プロジェクト（木村義弘代表）が表彰されました。

照井さんは、長年に渡り健康づくり推進員として活躍され、健康と食育をつなぐ幅広いまちづくりの推進に尽力された功績が称えられ表彰されました。

蚕桑駅前夢プロジェクトは、毎年ストーリー性のある田んぼアート作品づくりや、蚕桑駅の知名度向上や、町の観光資源としての活用など、関係人口や交流人口の拡大に尽力された功績を称えられ表彰されました。

おめでとうございます。



## 「コミセン」の絵を寄贈していただきました

絵画教室を担当して下さっている村上茂一氏から、白鷹町芸術祭に出展されていた蚕桑コミセンを描いた絵を寄贈いただきました。

ロビー（事務所入り口の上）に飾らせていただきましたので、コミセンにお越しの際はぜひご覧ください。

素敵な絵をありがとうございました。



## 募集とお知らせ

お申込み・お問い合わせ 蚕桑地区コミュニティセンター ☎ 85-2153

## 蚕桑小学校から 蚕学習に関わるご協力をお願い

蚕桑小学校では平成14年度より蚕の学習を行っております。

現在は、毎年3年生が主体となり活動していますが、繭収穫後の「毛羽取機（げばとりき）」がなく、都度、蚕の先生方にお借りしております。

そこで、ご自宅に「毛羽取機」をお持ちの方がおりましたら、蚕桑小学校教頭までご連絡をお願いいたします。

予算のない中でございますので、お支払いにつきましては、ご相談させていただければと存じます。

（連絡先 蚕桑小学校  
85-2249）



## みそづくり講習会

安全でおいしい手作りみそを作ります。10分のみそができます。

◎日時 2月16日（木）午前9時30分～

◎持ち物 大豆<sup>6</sup>キ（煮て持つてくる）、塩<sup>3</sup>キ、みそを仕込む容器

◎麴を加工してもらう関係で、米<sup>3</sup>キを2月2日（木）まで「コミセン」に届けてください。

◎材料費 1000円（麴加工代）

◎定員 20名（先着順）

◎締切り 1月30日（月）



## 蚕桑塾を開催

12月4日(日)、蚕桑の養蚕をテーマにした第2回蚕桑塾を開催しました。史談会顧問の江口儀雄氏を講師にお招きし、「養蚕の神々 蚕桑の繁栄を支えた養蚕」という演題で講話をお聞きしました。

蚕桑の養蚕の歴史、養蚕の神々について、そして養蚕の現在という内容でした。「田尻高玉蚕で暮らす」と唄われた養蚕が化学繊維に押され、昭和34年には2349戸と町戸数の半分を占めていた養蚕農家が年々養蚕から離れていき、平成16年には11戸、現在養蚕に従事している方はいないということをお聞きしました。蚕桑の地名の由来になっていく養蚕について、今回深く学ぶことができ、有意義な事業でした。



## 湧泉パークの水車雪囲いを実施

11月21日(月)に、湧泉パークの水車雪囲いを行いました。各区長さんにご協力頂き、高圧洗浄機で水車の洗浄を行い、竹とブルーシートで雪囲いしました。来年の春にまた元気に回ってくださる日が早くも待ち遠しいです。



## 山柳

### 蚕桑交柳社作品

課題 「何故」

自然界不思議な事で溢れてる何故だろう幸に気付かぬままに過ぎ運命も神の気ままな匙加減

課題 「焦る」

微笑みの裏に隠れて居る焦り婚活の焦りは親御の方だった楽天で生きるつもりも焦りだけ

ユーモア句

何故なんて無縁極楽トンボです焦らない百才生きた夢を見た

案一 柳杯

笑一 阜柳杯

八笑 凡古柳

## 今、伝えたいことば ②8

ほんらいむいちもつ  
本来無一物

事物はすべて本来、空(くう)であり、執着するものは何一つない、ということ。

禅宗の第六祖 慧能大師

人は何も持たずにこの世に生まれてきます。旅立つ時何ももって行くことはできません。手にしたものを失いたくないと思うと、執着が生まれます。しかし、私達はもともと「無一物」なのです。命さえあれば、何を失っても生きていける。その覚悟が人を強くします。

## LINE公式アカウント

蚕桑コミセン事業を中心にLINEで地域情報を発信しています。LINE公式アカウントに右のQRコードから友達登録をお願いします。



あとがき

初雪が降り、いよいよ冬の到来ですね。今年も残すところわずかとなりました。

さて、私事になりますが、今月末でコミセンを退職の運びとなりました。蚕桑地区の皆様には、いつも温かく支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。様々な事業や教室で一緒に過ごしていただいた楽しい思い出がよみがえってきます。離れるのは寂しさもありますが、新たな道で私らしくがんばっていきます。新しい道で私らしくがんばっていきます。長い間お世話になりました。本当にありがとうございます。(横山)